

令和4年11月21日（月）

匠の技教室(電気科1年生) ～ 第二種電気工事士実技講習会 ～

松山市電気工事組合様から、電気工事および電気通信・制御機器設計などの分野において、第一線でご活躍の7名の講師の先生方をお招きし、電気科1年生に対して、第二種電気工事士の技能試験のための実技講習会を行っていただきました。



製作手順を動画で視聴する様子

講師の先生方は、会社経営や社員の育成・指導にご尽力され、住宅から大型商業施設、スポーツ関連施設などの屋内配線や街灯・トンネル照明設備など、幅広い分野の電気工事の仕事に従事されています。

まず始めに講師の先生が、課題回路を製作する様子が撮影された動画を視聴しました。その後、生徒たちが課題製作を行う様子を見ていただき、作業工程および各種工具の取り扱い方法に関する指導、製作後の作品に不具合がないか、プロの目でチェックをしていただきました。

第二種電気工事士の技能試験では、13問の課題回路の中から1問出題され、それを施工条件に従い、40分の制限時間内でミスなく作品を完成させなくては合格できません。講師の先生方に、「この課題だと約10～15分程度で完成します。」と言われて、生徒たちはとても驚いていました。



ケーブルを適切な長さに切断



専用工具でケーブルの外装を剥ぎ取る



作業の様子を見守る講師の先生方



コンポジット等の各種機器に配線する様子



製作後の作品の点検を受ける様子



女性講師から点検を受ける様子

生徒たちは、友達と相談・確認し合いながら真剣に作業を行いました。また、講師の先生方は、生徒の作業を見守りながら、工具の取り扱い方や安全作業の方法などで、気付いたことを丁寧にご指導いただきました。生徒たちは最後まで安全に作業を続け、作業時間には個人差はありますが、課題回路を仕上げることができました。また、指導を受けた生徒の中に女子生徒もいるので、電気工事業界にも女性が進出されていることを知るよい機会となり、進路選択の幅が広がることを願っています。講師の先生方には、大変お忙しいなか電気科の生徒たちをご指導いただきまして、誠にありがとうございました。